

## 抄録原稿の作成方法

### 一般演題抄録原稿

#### 1 言語

記述の言語は、日本語とする。

#### 2 抄録原稿

原稿はパソコンで作成する。北海道看護協会ホームページより所定の様式をダウンロードし、2種類(抄録原稿、選考用抄録原稿)作成する。原則として、抄録原稿は文章のみとする。ただし、特別な理由がある場合、図表は1点のみ可とする。

##### (1) 抄録原稿

表題・キーワード・発表者名・共同研究者名・所属施設名を記載する。

そのまま抄録とするため、完全な原稿として提出する。

##### (2) 選考用抄録集原稿

抄録を選考する委員に提出するため、投稿者を特定できないよう発表者名・共同研究者名・所属施設名を記載しない。

表題・キーワード・本文は「抄録原稿」と同一のものであること。

#### 3 原稿枚数・文字数

(1) A4 横書き 2 段組み(様式ダウンロード)1 枚以内(両面不可)

(2) 2,000 字以内(引用文献、図表、スペースなどを含む)

(3) 表題、副題はそれぞれ 30 字以内

#### 4 様式 (北海道看護協会ホームページより、所定の様式をダウンロードする)

##### (1) 様式使用の注意事項(抄録原稿、選考用抄録原稿共通)

①本文は2段組みとし、スペースを含めて2,000字(全角25字×40行×2段)以内の抄録になるように設定されている。ページ設定、文字サイズ、書体、本文より上部の行数の変更は不可。

②本文の文字サイズは、10.5ポイントとし、和文フォントは明朝体で全角、英文およびアラビア数字は半角とする。

③図・表を挿入する場合、レイアウトは自由だが、論述の根拠となるデータを厳選し、図・表の文字、数字は判別可能なものを挿入すること。

④写真・図・表は白黒で判別できる明瞭なものであるか確認すること。

#### 5 構成

表題・副題および本文の構成・項目立ては、原則として次の通りとする。

項目立ては下記の【 】の項目を全て使用し、各項目には以下を含む必要な内容を記載する。

<「研究報告」の項目立てと必要な記載内容>

・表題・副題は、簡潔で研究内容がわかるように表現する。

【緒言】 先行研究で明らかになっている内容をもとに本研究の新規性および意義を明確に記載する。

【目的】 本研究の目的を明確に記載する。

【方法】 研究方法と分析方法の両方を記載する。

【倫理的配慮】 研究の過程で行った倫理的配慮を記載する。倫理的配慮については pp. 17-18 の「研究における倫理的配慮とその記述方法」(資料3)を網羅すること。

【結果】 事実を客観的に記載する。

【考察】 結果の解釈、先行研究との関連を記載する。

【結論】 考察から導き出された結論と本研究の限界、今後の看護実践や研究への示唆を記載する。

引用文献 記載にあたっては下記※参照

<「実践報告」の項目立てと必要な記載内容>

・表題・副題は、簡潔で実践内容がわかるように表現する。

【背景】 実践に取り組んだ背景などを記載する。

【目的】 実践のねらい(実践の目的)を明確に記載する。

【実践内容・方法】 事例の概要や取組みの方法を記載する。

【倫理的配慮】 倫理的配慮を記載する。倫理的配慮については pp. 17-18 の「研究における倫理的配慮とその記述方法」(資料3)を網羅すること。

【結果】 実践の結果を記載する。

【考察】 結果の解釈、先行研究がある場合にはそれとの関連などを記載する。

【実践への示唆】 課題や展望など、今後の看護実践への示唆を記載する。

引用文献 記載にあたっては下記※参照

※引用文献の記載

(1) 引用文献は引用順に本文の引用箇所の肩に<sup>1)</sup><sup>2)</sup>と番号をつけ、本文原稿の最後に一括して引用番号順に記載する。

(2) 引用文献の記載方法は次のようにする。共著者は3名まで標記し、それ以外はその他とする。

【雑誌掲載論文】

著者名：表題名，雑誌名，巻(号)，頁，発行年(西暦年次)。

例) 学会花子：看護研究の〇〇〇について，▲▲看護，25(11)，p. 35-38, 2008.

例) 学会花子，日本協子，清瀬看子，他：看護の〇〇〇研究 第〇回日本看護学会論文集(看護管理)，p. 5-8, 20〇〇.

【単行本】

著者名：書名(版)，発行所，頁，発行年(西暦年次)。

例) 学会花子：看護実践研究の手引き(3)，〇〇看護出版 p. 145, 2006.

著者名：表題名，編者名，書名(版)，発行所，頁，発行年(西暦年次)。

例) 学会花子：研究における〇〇，日本協子編 看護実践研究(2)，▲▲出版 p. 76-88, 2007

【翻訳書】

原著者名：書名(版)，発行年，訳者名，書名(版)，発行所，頁，発行年(西暦年次)。

例) Alice Williams：Nursing Research(4)，2001，学会花子訳 看護研究(4)，〇〇看護出版 p. 298. 2003.

【電子文献】

著者名：表題名，雑誌名，巻(号)，頁，発行年(西暦年次)，アクセス年月日，URL。

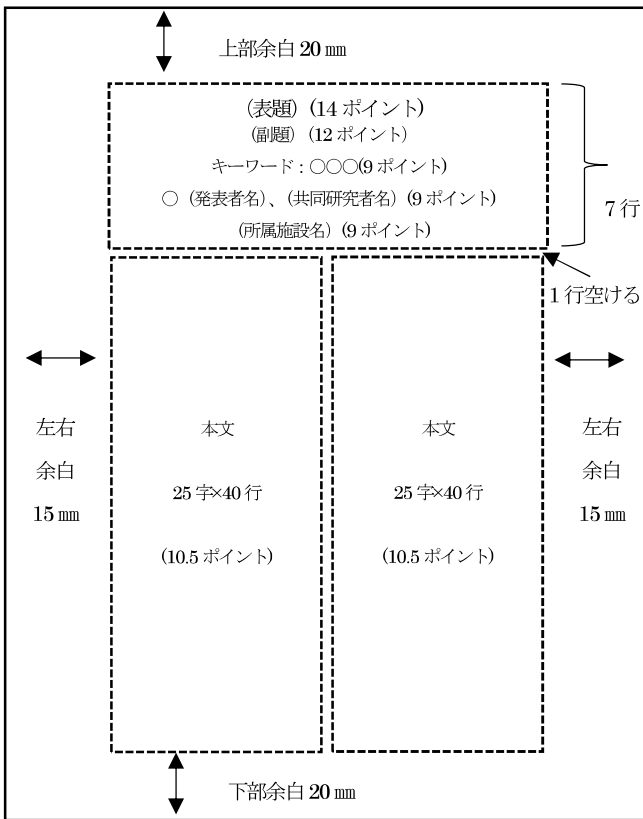
発行機関名(調査/発行年次)，表題，アクセス年月日，URL。

例) 文部科学省，厚生労働省(2021)，人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針，2021年12月6日閲覧 <https://www.mhlw.go.jp/content/001077424.pdf>.

※公的機関から提供される情報(統計、法令等)、電子ジャーナルのみを対象とする。

6 抄録原稿見本（研究報告、実践報告共通）

①抄録原稿



①抄録原稿

■上段に 1 段組で、

7 行分のスペースを使い下記①～④記載

①表題 ※副題は必要時

②キーワード(「キーワード:」の後に、

抄録内容を表す重要な語句を 3～5 個)を記載する

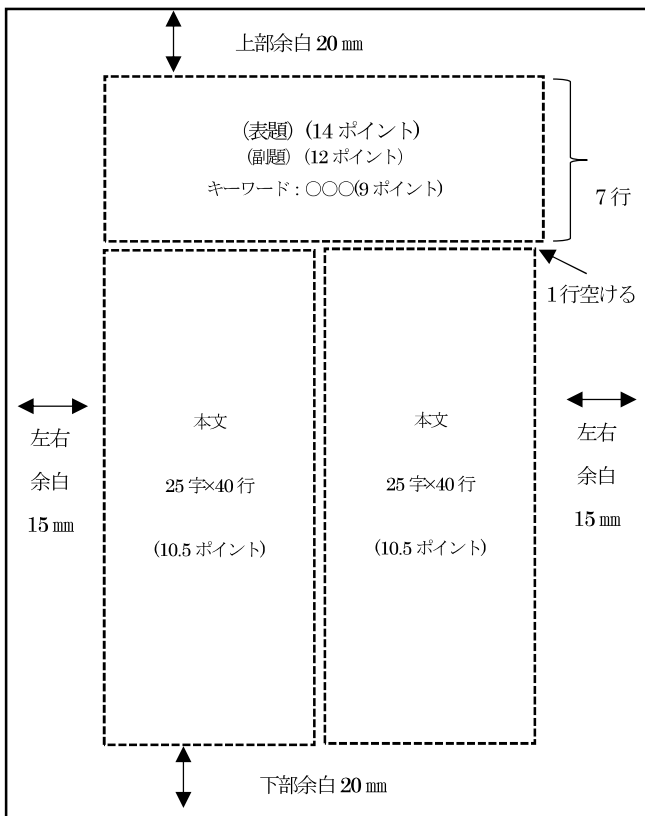
③発表者名(最初に記載し、氏名の頭に○印を入れる)

④共同研究者名

⑤所属施設名

■上段から 1 行空け、本文は 2 段組みとする。

②選考用抄録原稿



②選考用抄録原稿

■上段に 1 段組で表題、キーワード

※表題・キーワード・本文は①抄録原稿と

同一であること

※発表者名、共同研究者名、所属施設名は

記載しない

■上段から 1 行空け、本文は 2 段組みとする。



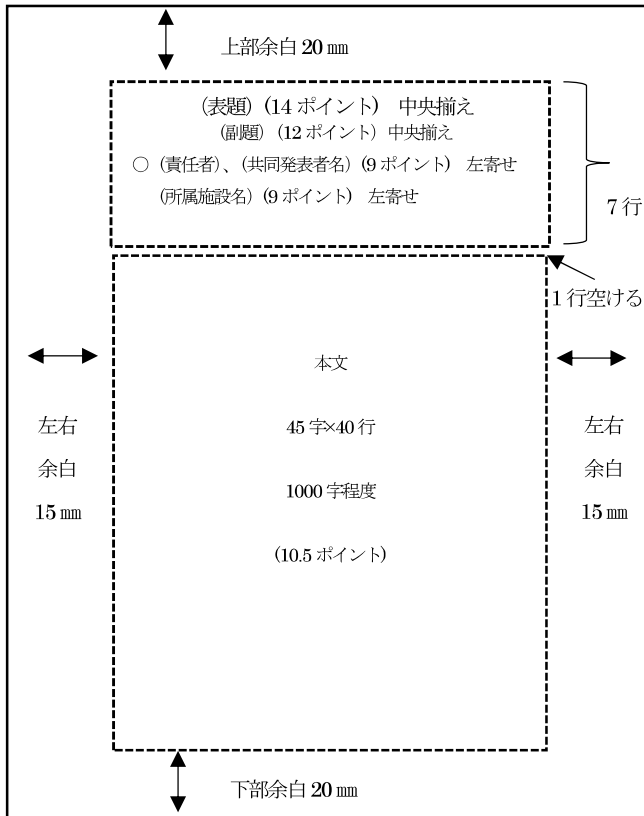






# 交流セッション抄録原稿

## 抄録原稿



### ■上段に1段組で、

7行分のスペースを使い下記①～④記載

①表題 ※副題は必要時。

②責任者(氏名の頭に○印を入れる)

③共同発表者名

④施設名

※複数施設の場合は名前右肩に数字をふり

下に施設名はまとめて記載する。

### ■上段から1行空け、本文を1000字程度でまとめる。

開催の趣旨(目的や意図等)、実施方法(おおよその時間配分を含む)、内容(実践や取組内容・成果や課題・検討したい今後の課題等)を記載する。  
企画内容に応じて、倫理的配慮に関する記載する。